

令和5年12月定例教育委員会議録

1. 日 時 令和5年12月7日(木)午後2時
2. 場 所 レイクアルスタープラザ・カワサキ中央図書館2階 視聴覚室
3. 出席委員
- | | |
|----------|---------|
| 教育長 | 奥 真弥 |
| 教育長職務代理者 | 赤坂 敏明 |
| 委 員 | 山下 潤一郎 |
| 委 員 | 中村 スザンナ |
| 委 員 | 甚野 益子 |
| 委 員 | 石崎 貴朗 |
| 委 員 | 谷口 朋 |
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
- | | |
|----------------------|-------|
| 教育部長 | 高橋 和也 |
| 教育部理事 | 檜葉 浩司 |
| 施設担当理事 | 中野 康 |
| 読書活動推進担当理事 | 大引 要一 |
| 学校給食担当理事 | 田中 伸宏 |
| 泉州国際マラソン担当理事 | 山路 功三 |
| 教育総務課長 | 鍵埜 和弘 |
| 教育総務課教職員担当参事 | 山岡 史賢 |
| 学校教育課長 | 田倉 元 |
| 学校教育課学校指導担当参事 | 和田 哲弥 |
| 学校教育課人権教育担当参事 | 渡辺 健吾 |
| 生涯学習課読書活動推進担当参事 | 細矢 祥代 |
| 青少年課長 | 洞 義浩 |
| スポーツ推進課スポーツ推進担当参事 | 鳥越 直子 |
| (庶務係) 教育総務課課長代理(兼)係長 | 山本 建志 |
5. 本日の署名委員 委 員 山下 潤一郎

議事日程

(報告事項)

報告第36号 教育委員会後援申請について

報告第37号 教育委員会後援実施報告について

報告第38号 2024年度泉佐野市教職員組合要求書に対する回答について (教育総務課)

議案第22号 令和5年度教育委員会表彰の被表彰者について (教育総務課)

議案第23号 泉佐野市立学校支援学級在籍者を含めた通常学級学習におけるきめ細かな指導
充実推進事業について (教育総務課)

(午後2時00分開会)

奥教育長

ただ今から令和5年12月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

本日は委員全員が出席しているため、会議が成立しています。

本日の会議録署名委員は山下委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の審議に入ります前に、11月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。委員の皆様で何かお気づきの点がございましたら、お願いいたします。

無いようでございますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、谷口委員は後ほど署名をお願いします。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

はじめに報告第36号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

洞青少年課長

本年7月18日に、10月15日開催の「泉州YOSAKOI 忍えじゃないか祭り」の後援依頼の提出がありましたが、教育委員会への報告案件の提出を失念しておりまして、申し訳ございませんが、今回実施報告と同時の案件提出となってしまいました。以後このようなことがないように気をつけます。申し訳ございませんでした。

奥教育長

こういうことは度々あってはならないことなので、申し訳ございません。

鍵埜教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料36に基づいて説明。

新規0件、継続1件、計1件の事業内容について一括で報告

奥教育長

事後報告になってしまいました大変申し訳ありません。ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

中村委員

「一般社団法人にぎわい夢創りプロジェクト」さんのイベントについて発言するのですが、確か5月か6月頃に「とっておきの音楽祭」もされていると思うのですが、そのイベントを申請するときと、「泉州YOSAKOI ぶえじゃないか祭り」を申請するときと、団体さんの担当者が違うという認識ですか、それともまとめて申請に来られるのですか。

大引読書活動推進担当理事

「とっておきの音楽祭」の担当課は生涯学習課で、担当者が同じかどうかは把握していませんが、時期的には別々でいただいていると思います。

中村委員

代表者というか理事の方々が何人かいらっしゃって、同じメンバーが回していらっしゃいますよね。

大引読書活動推進担当理事

組織的には同じものなので、タイミングが違うだけだと思います。

中村委員

これがあがってくるのも、本来はもう少し早かったのですか。

高橋教育部長

先ほどの報告につきましては、書類は先に提出されていて、事務局が処理を忘れていましたので、今回は相手側が悪いのではなく、こちらが悪いので、申し訳ございません。

中村委員

はい。わかりました。

奥教育長

以後ないように気を付けます。

中村委員

色んなイベントを色んなところでされているので、担当者が違うのかなと思ひまして質問しました。

奥教育長

中身によってこちらも窓口が違うというのもわかりにくいと言えればわかりにくいですね。

他にございませんか。

無いようでございますので、以上で報告第36号を終わります。

次に、報告第37号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。報告をお願いします。

鍵埜教育総務課長

報告第37号「教育委員会後援実施報告について」ご説明いたします。

報告資料37「教育委員会後援実施報告一覧表」をご覧ください。

報告件数は今回7件で、これらは以前に教育委員会の後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料第37をもって報告にかえさせていただきます。

奥教育長

ただ今の報告について、委員の皆様でご意見ご質問がございましたらお願いします。

無いようでございますので、以上で報告第37号を終わります。

次に、報告第38号「2024年度泉佐野市教職員組合要求書に対する回答について」を議題といたします。報告をお願いします。

山岡教育総務課教職員担当参事

去る9月28日に泉佐野市教職員組合から提出されました2024年度泉佐野市教職員組合要求書に対して教育委員会事務局としての回答を報告させていただきます。

報告資料38をご覧ください。

内容は、基本要求が8項目、通常要求7項目をはじめ、専門部要求を含め、労働条件や教育諸条件の改善、あるいは教育制度についての要求が200余りとなっています。

左側が要求項目で右側が要求に対する回答となっており、朱書き部分が新たな要求項目、下線付きが重点要求項目です。

来年1月にこの回答を基に組合との交渉をさせていただきます。ご確認よろしく願いいたします。

奥教育長

ただ今の報告について、委員の皆様でご意見ご質問がございましたらお願いします。

中村委員

基本的な質問ですが、赤字の質問を新たに加えられたところというのは、例えば5ページの「チャレンジテストに、市として参加しないこと。」「すすくウォッチに、市として参加しないこと。」というのは、具体的に参加してほしくない理由としては、その上の③番、④番みたいなことが大まかな理由ですか。

山岡教育総務課教職員担当参事

その通りでございます。組合の要求としてはそういう形で要求をされているということです。

中村委員

それは、それ以外に深掘りされた多角的な理由があって「絶対反対なのです。」という具体的な理由はないのですね。

山岡教育総務課教職員担当参事

特に細かい説明というのはこの件に関してはありません。序列化であったり、不必要な競争というか、そういうのを煽らないようにということで要求されているということでございます。

中村委員

参加しないことで「こういう成果があります」「こういうメリットがあるから」ということも何もおっしゃってないのですね。

山岡教育総務課教職員担当参事

主張されているだけです。

山下委員

いつも去年の上書きみたいな感じですが、今年は赤字がいつもより多いと思うのですが、例えば教育長が前からおっしゃっている「マイノート」について「こういうものはやめてよ」という主張に対して、教育長としてはどのような説得の仕方をお考えですか。

奥教育長

「取り組みを強制しないこと」と書かれていたのですが、決して強制するものではなくて、これは泉佐野市の子どもの実態をもとにして、こういう課題があるからこういうことをするんだということをはっきりと言って、それについてはしっかり現場でも活用してくださいという思いですね。

山下委員

実際には「取り組みを強制しないこと」と書いていますが、「やめてよ」ということにしか見えないですけどね。

奥教育長

意思的にはそういうことかもしれないですが、こちらとしては学校現場を支援する立場からこういう課題があるから子どもたちにこんなことをしっかり日々自分を振り返って「マイノート」を使って、これからの自分の課題を解決していく一助となるようにやってほしいという、現場の先生が頑張っていて子どもにも活用してくださいということは言ってもらおうということですね。初めは使い方等説明もしてもらっているのですが、それについて日々励ましてあげる意味で見てあげることも大事ですよということは、校園長会でも担当者の会でも言わせてもらっています。それはこちらの学校現場の支援として欠かせないものなので、活用してくださいということは言いますけれどね。

山下委員

やらないよりはやる方がいいと思うのですが、他の子どものことを含めて、全体的に面倒なことはやめていこうという風にしか見えないのですが。

奥教育長

例年要求されている項目ですね。

山下委員

議案から最近報告に変わっていますね。

奥教育長

そうですね。

この件に関しては、回答した上で対応させていただきますのでよろしくお願いします。

他にございませんか。

無いようでございますので、以上で報告第38号を終わります。

続いて議案審議にうつります。

議案第22号「令和5年度教育委員会表彰の被表彰者について」を議題といたします。説明をお願いします。

鍵埜教育総務課長

議案第22号「令和5年度教育委員会表彰の被表彰者について」ご説明させていただきます。

議案資料22をご覧ください。

泉佐野市教育委員会表彰規則及び表彰基準に基づいて、教育委員会各課及び各学校より推薦され、今回、上程させていただきます表彰対象者は内申一覧表のとおりで、個人、学校合わせて27件でございます。

1枚めくっていただき、内申一覧表をご覧ください。

1番から4番の方は、表彰規則第2条第1項第1号に規定しています、職員の永年勤続に該当するもので、教員で20年以上務められ、成績良好として表彰する方々です。

5番から6番の方は、表彰規則第2条第1項第4号に該当するもので、退職校長に対する表彰です。

7番から8番の方は、令和元年度から実施しています「泉佐野市子どもの主張コンクール」の小学校の部、中学校の部のそれぞれ最優秀賞の児童・生徒に対する表彰で、表彰規則第3条第1項第1号に該当するものです。

なお、被表彰者につきましては、本教育委員会議終了後に別室にて委員の皆様にご選考いただく予定となっております。

9番から10番の方は、表彰規則第3条第1項第2号に該当するもので、体育活動において、特に優秀な成績をおさめられた市立学校の生徒に対する表彰です。

11番から27番までの方は、表彰規則第4条第1項第1号に該当するもので、社会教育、社会体育等の活動において、特に優秀な成績をおさめられた方に対する表彰となっております。

なお、教育委員会表彰の表彰式でございますが、来年1月20日（土）、午前10時30分から、レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター1階の多目的室にて開催させていただき予定でございますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。ご審議よろしくお願いいたします。

奥教育長

ただいま教育総務課長より説明がありましたが、ご意見ご質問がございましたら、お願いします。

甚野委員

11番の沈展帆さんの「ヨーロッパ女子情報オリンピック」というのは、どういうオリンピックなのか教えていただけますでしょうか。

大引読書活動推進担当理事

「ヨーロッパ女子情報オリンピック」は、プログラミング等を競い合う女性のみでの情報処理の大会で、日本でいう一般社団法人の情報オリンピック日本委員会での国際的な情報処理のオリンピック競技があるのですが、その推薦で行かれた世界大会です。世界大会で銀メダルを受賞されているということです。銀メダルを受賞されたのちに、世界的に銀メダルということなので、文部科学大臣賞の特別賞をいただいております。

奥教育長

高校生ですね。

大引読書活動推進担当理事

高校生です。佐野高校の生徒さんです。

奥教育長

12番も高校生ですね。

これに「子どもの主張コンクール」の最優秀賞の小中別が加わるということですね。

今のところそれ以外は団体さんはないですね。あとは個人になっていきますね。

他にございませんか。

無いようでございますので、議案第22号「令和5年度教育委員会表彰の被表彰者について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きまして議案第23号「泉佐野市立学校支援学級在籍者を含めた通常学級学習におけるきめ細かな指導充実推進事業について」を議題といたします。説明をお願いします。

山岡教育総務課教職員担当参事

それでは、議案第23号「泉佐野市立学校支援学級在籍者を含めた通常学級学習におけるきめ細かな指導充実推進事業について」説明させていただきます。

泉佐野市公立小学校において支援学級在籍児童を含めた通常学級学習者が40人以上となる学校を対象として、きめ細かな指導の充実を図るため令和6年4月から市費講師の配置を計画しています。

趣旨については「泉佐野市教育委員会が、小学1年生から6年生を対象に、共に学び共に育つインクルーシブ教育を推進し、安全、安心な学校生活を実現させ、一人ひとりに対するきめ細かな指導を充実することにより、児童の学習を含めた学校生活に対する意欲向上を図ることを目的として任期付教育職員、いわゆる「市費講師」を配置するために必要な事項を定めるもの」となっています。

第2条以下は、ポイントを絞って説明させていただきます。

第2条は、2月1日を基準日として、支援学級在籍者を含めた通常学級学習者が40人以上となる学年に市費講師を配置するというものです。

第3条は、学校規模等の条件を書いています。今のところ、全ての小学校が対象となります。

第4条は、市費講師の任期は1年間で、労働条件は、「泉佐野市立学校の市費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則」のとおりです。

第5条は、実施校の成果報告とその取りまとめについてとなっております。

第6条は、不適切な活用等があった場合には、教育委員会より是正措置を講じるというものです。

第7条は、要綱に定める以外の必要な事項は、別に定めるというものです。

ご承認いただけましたら、令和6年1月1日付で施行させていただきます。

説明は以上です。ご承認頂きますようよろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいま教育総務課教職員担当参事より説明がありましたが、ご意見ご質問がございましたら、お願いします。

中村委員

「きめ細かな」という表現の目線というのは、お子さんたちがして欲しいきめ細かな配慮プラス保護者の希望されるきめ細かな配慮とか、限りないと思うのですが、市費講師でお願いできる範囲も限られてくると思うのですが、設定されている人数とか、「きめ細かな」度合いはどのような風に設定されているのかと思ひまして、お聞きしたいのですが。

山岡教育総務課教職員担当参事

具体的にこの項目ということではなくて、基本的に現在小学校でいきますと、6年生は来年市費で35人学級になっております。支援学級入級生も泉佐野市は多いので、支援学級に入級しているお子さんも、インクルーシブ教育の中で教室の中で通常学級の子と一緒に学習する場面があります。その時に40人を超えるようなクラスになる場合があるわけですが、そこを例えば2つのクラスに分けることによって、20人ぐらいの規模で学習することができるということで、基本的に子どもの個々の課題に即したきめ細かな対応や、指導対象が1/2の人数になりますから、より細かにできるという意味の表現でありまして、その子その子の課題に応じて、例えば保護者との連携の中で支援学級の子であれば、支援学級の担任との連携の中で学習をより充実させていくためにできることを人数が少ないのでより丁寧にしていくことができるという観点での「きめ細かな」という表現になっています。具体的にここまでとか、こんなことをやってくださいとかっていうことは個々の状況によって変わってくるかと考えております。クラスを単純に2つに分けるという方法もありますし、40人の中で普通だったら担任1人だけれども、複数担任体制みたいな感じで指導していくという方法もあると思ひますので、そこは学校事情に合わせて校長の方で選択していただければいいという取り組みになっております。

中村委員

講師の先生が増えるということで、介助の先生も増えるということではないのですか。

山岡教育総務課教職員担当参事

介助員は介助員でまた別で必要なお子さんに対応していますので、別となります。

中村委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

山下委員

来年何人になりますか。

山岡教育総務課教職員担当参事

見込みになるのですが、新入生を含めて来年の人数を今精査してまして、今現在のところ対応する必要がでてくるだろうと見込んでるのは4人もしくは5人と見込んでおります。

山下委員

中学校は前から対応されていませんか。

山岡教育総務課教職員担当参事

今年度については、小学校中学校両方で45人を超える場合、45人未満になるようにさせていただいております。中学校は今40人学級なので、そのまま45人ということで、小学校は国定数で順次35人になっていっていますので、40人ということでよりきめ細かな対応ができるように施策を進めていきたいと考えております。

奥教育長

来年度は中学1年生については35人学級にする予定でございますので、市費講師も増える予想はしています。

山下委員

わかりました。

奥教育長

他にございませんか。

甚野委員

来年度の泉佐野市の小学校入学者数、中学校入学者数はどのぐらいの人数がいるのか、前年度に比べてどれぐらい増減しているのかをお聞きしたいのですが。

山岡教育総務課教職員担当参事

資料を本日持ち合わせておりませんので、また後ほどご提示させていただきます。

甚野委員

わかりました。

奥教育長

他にございませんか。

無いようでございますので、議案第23号「泉佐野市立学校支援学級在籍者を含めた通常学級学習におけるきめ細かな指導充実推進事業について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きまして、その他で何かございますか。

洞青少年課長

前回の教育委員会でご報告しました、成人式開催についてご案内をお持ちしておりますので後ほどお渡しできればと思います。よろしくをお願いします。

奥教育長

他にございませんか。

甚野委員

図書館だよりを見せていただくと、色んなイベントを提案されていまして、私は「クリスマスまで数えよう！～アドベントカレンダー～」について、クリスマスの絵本や大人が楽しめる本を紹介されるということなのですが、あまり日本ではアドベントカレンダーというのは浸透していないと思うのですが、クリスマスに向かってクリスマスが勝手に12月25日にくるのではなくて、自分たちが積極的にその日を指折り数えて楽しむという風な理解をしているのですが、そういうのをご提案していただいて、子どもたちの冬休み中の楽しみがさらに増えるのではないかなと思いましたので、良いご提案をいただいていると思います。

中村委員

家庭の中で宗教的なイベント事、学校教育では宗教はタブーなので、クリスマスはどのようなものなのか、キリスト教を信仰している方々はどのような風に過ごされているのかということを知りたいという土壌だと思ってしまうので、絵本を通して図書館が教養を深めようという取り組みは凄くいいと思うのですが、「数えるって、なんで」「そもそも何で数えるの」とか、「クリスマスってどういう日」とか、そもそも話をここで紹介してくれると思うのですが、家庭教育では難しいでしょうね。

甚野委員

それぞれの家庭の考え方とか趣旨があるので、宗教も絡んでいきますし、私はお菓子を順番に食べるということくらいしか知らなくて、アドベントでカレンダーをめくるというのもあるし、クリスマスまでその日を楽しみにして1つずつ塗りつぶしていくみたいな感じで指折り数える、お正月と一緒に感じるかなと思って、目前で楽しみ事があるというのはワクワクするので、それは凄くいいことだと思います。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。

次回の1月の定例教育委員会議は令和6年1月18日木曜日、午後2時から、レイクアルスター
プラザ・カワサキ中央図書館2階視聴覚室で開催いたします。

それではこれをもって本日の会議は終了いたします。

(午後2時32分閉会)